

施策評価表

1次評価日（課長等）	26年10月10日
2次評価日（部長等）	26年10月10日

1 施策の概要

施策名	生活環境対策の推進	コード	7-3
この施策の主な内容（細施策）	①総合的な生活環境保全対策の推進、②野焼き、不法投棄の防止		
第4次総合計画におけるこの施策の目的	大気汚染、水質汚濁などの公害防止については、監視体制の強化を図るとともに、野焼きや不法投棄など、日常生活に起因する事柄については、環境への影響を広く知ってもらい防止を図る。		
担当部課	部 市民環境部	課等 環境課	作成者 小口智弘

●施策の実施内容（D0）

2 施策指標の達成状況

*第4次総合計画における目標指標の達成状況（最終年度：25年度）

①	施策指標名	単位	23年度	24年度	25年度		26年度	27年度	
			実績値	実績値	目標値	実績値	達成率	目標値	目標値
	水質調査河川のBOD最高値	mg/l	1.3	1.0	1.5	1.7	113.3%	1.0	1.0
	指標説明	水質調査実施河川のうち、BODの最も高い河川の数値により、生活環境汚染の状況を把握する。							
②							#DIV/0!		
	指標説明								
③							#DIV/0!		
	指標説明								

3 施策全体にかかる合計コストの推移

*項目6より「直接事業費」「人件費」の合計を自動表示

単位：千円

	23年度	24年度	25年度	26年度（予算）
直接事業費	2,081	3,062	2,634	2,865
人件費	4,400	4,400	4,400	4,400
合計コスト	6,481	7,462	7,034	7,265

●施策の評価（CHECK）

4 施策の現状評価

*25年度に施策の目的がどこまで達成できたか、施策の進行状況に関する順調／不調の判断

施策指標である水質調査河川のBOD最高値は、下水道の普及等により、低下傾向となっている。不法投棄件数は平成22年度に増加し、以降依然として横ばいとなっている。生活に関する苦情の件数は、前年度に比べ大きな変動はないが、引き続き野焼きに関する苦情が増えている。

*岡谷市の現状のうち、この施策にとって強み／弱みとなる要因

岡谷市の強み	下水道の普及。
岡谷市の弱み	農地と宅地の混在していることにより、農地での野焼きに対する近隣住民からの苦情が多い。

5 今後の外部環境の変化

*27年度以降に予測される社会・経済などの環境変化のうち、この施策に具体的に影響する要因

有利に働くもの	特になし
不利に働くもの	特になし

●改善の内容 (ACTION) / 次年度の計画 (PLAN)

6 平成27年度 施策を構成する事務事業の方向性

●基本的な考え方

* 優先して実施する分野=優先度がA・Bの事業：拡大する事業や新規事業の内容、優先的に実施する理由
 * 見直しを行う分野 =優先度がC・Dの事業：見直しの内容、見直しや廃止をする理由

優先して実施する分野	生活環境の状況を把握するため、河川及び地下水の水質調査、自動車騒音の測定を継続して実施し、状況の分析を行う。 野焼きや不法投棄について、環境モニターと連携しながら、環境に与える影響を理解してもらうため、市民への意識啓発を図っていく。
見直しを行う分野	特になし

●27年度の優先度

* 事務事業の方向性が「継続」の事業についてA~Cにランク付け
 A：拡大、B：現状維持、C：見直し、-：廃止・完了・統合

直接事業費・人件費の単位：千円

No	新規事業	様式	実施義務	事務事業名	成果指標		直接事業費	人件費	妥当性	方向性	優先度	
					指標名	単位	23年度	23年度				23年度
1		内部	なし	生活環境対策事業	-	-	23年度	2,081	4,400	高い	継続して実施	A：拡大
							24年度	3,062	4,400			
							25年度	2,634	4,400			
							26年度	2,865	4,400			
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												